
教育計画・予算

1	教育推進計画	P4
2	学力向上プラン	P5
3	体力向上プラン	P6
4	コミュニティ・スクール（CS）	P7
5	教育予算	P8

1 《令和4年度》

当別町教育推進計画

基本理念 (教育大綱)

1. 目指す人間像「社会を背負う、世界にも通用する『確かな学力・豊かな心・健やかな体』を備えた人」の育成
2. 幸せを実感できる生涯学習社会の実現

小中一貫教育で
つけさせたい力

1. 基礎基本に基づく発展的学力、自ら学ぶ意欲
2. 豊かな人間性
3. 健全な心身
4. コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力
5. 当別が好きな子ども

基本方針	小中一貫教育6年目、新たなステージへ～併設型、一体型それぞれの小中一貫教育推進～		
重点目標	【重点1】 確かな学力の育成 (知)	【重点2】 豊かな心の育成 (徳)	【重点3】 健やかな体の育成 (体)
主な施策 (学校支援)	1. 主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ① 小学高学年で一部教科担任制を実施 (加配、講師、学力向上推進講師4名、乗入れ、担任相互) ② 情報教育 (1人1台端末の活用、情報活用能力やモラル教育の充実) ③ 外国語教育 (ALIT配置 (2名)、英検 IBAの活用) ④ 特別支援教育 (支援員8名・介助員2名・看護師1名配置、巡回相談チーム・専門家の活用) ⑤ 学校教育指導主事による指導助言 2. とうべつ未来学 「ふるさと教育、国際理解教育、キャリア教育」の3本柱による教科横断的学習	1. いじめ防止、不登校児童生徒支援 (指導主事や各校生活指導担当、顧問・保健士、いじめ問題調査委員、道のSCやSSWの活用) 2. 全教育活動を通じて自他の命を大切にする教育 (道徳教育への位置づけ、講演講師選定)	1. 1校1美技や新体力テストの実施 (スポーツ推進協議会、大学との連携協力) 2. 美味しい給食の提供をはじめとする 食育指導の充実 (地場産食材、校長のリーダーシップ・教頭の調整力を発揮した当別高校のメニュー開発、地域との連携)
具体的取組	全国学力・学習状況調査等学力検査、NRT結果全国平均以上	いじめゼロ、不登校改善	全国体力調査、全種目全国平均以上
達成指標	1. 第5次当別町教育推進計画(令和2年度施行) 2. 教育環境の整備 3. とうべつ学園の運営 (教育課程、行事、環境等) 4. 地域や外部の教育資源の活用 5. 教職員研修 (夏季・冬季) の開催 6. 予期せぬ事態への対応 (新型コロナウイルス感染症防止対策の継続、1人1台端末による「学びを止めない」仕組みの充実、児童生徒指導事故に対する支援) 7. 働き方改善【部活動の在り方検討 (休日の地域部活動研究)、1年単位の变形労働時間削減、教職員・事務職員の標準的職務内容の明確化] 8. 各中学校区コミュニティ・スクエア (CS) の支援	いじめゼロ、不登校改善	全国体力調査、全種目全国平均以上
課題			
基本方針	【重点1】 新たな生涯学習プログラムの充実		
重点目標	【重点2】 児童生徒支援の充実	【重点3】 図書館機能の充実	【重点3】 発達支援センター機能の充実
主な施策	1. 授業への講師派遣 2. 放課後学習会、土曜教室、地域巡検の実施 3. スポーツ活動に対する支援 (地域運動部活動事業の推進、北海道医療大学や日本体育大学との連携)	1. 子ども読書活動推進 2. 学校図書館への指導・助言 (司書の活用、とうべつ学園図書室地域開放検討) 3. 主催事業の企画立案 4. 町図書館運営のさらなる充実	貸出図書数前年比10%増
具体的取組	学校要望100%、学習会参加者前年比10%増	貸出図書数前年比10%増	貸出図書数前年比10%増
達成指標	1. 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携、地域の人材活用 2. 「当別歴史・文化プロジェクト」の運営 (歴史研究、学習講座や講演会の開催) 3. 多世代交流事業 (高齢者の生きがいづくり) の推進 事業への参加者前年比10%増	1. 第5次当別町教育推進計画の遂行 (令和2年度施行) 2. 第3次当別町子ども読書活動推進計画の遂行 (令和2年度施行) 3. 社会教育施設の整備 (総合体育館、図書オンライン予約システム) 4. コロナ禍における事業実施の工夫 5. とうべつ学園図書館の運営支援 6. ボランティア活動の充実 (図書館、古文書解析)	貸出図書数前年比10%増
課題			
基本方針	【重点1】 子育て支援の充実		
重点目標	【重点2】 幼児教育・保育の充実	【重点3】 発達支援センター機能の充実	【重点3】 発達支援センター機能の充実
主な施策	1. 子どもプレイハウスの保育活動充実 (委託初年度に関する評価) 2. 社会教育や福祉部等各部署との連携による保護者(子育て)支援 3. 児童虐待防止や発生の学校をはじめとする関係機関との調整 関係機関との速やかな連携	1. 保育士確保のための支援 2. 認定子ども園の特別支援教育に係る支援 3. 幼保小間の接続プログラム (令和2年度作成) の遂行	利用者満足度90%以上
具体的取組	関係機関との速やかな連携	利用者満足度90%以上	利用者満足度90%以上
達成指標	関係機関との速やかな連携	関係機関との速やかな連携	利用者満足度90%以上
課題	1. 第5次当別町教育推進計画の遂行 (令和2年度施行) 2. 第2次子ども・子育て支援事業計画の遂行 (令和2年度施行) 3. 幼保小間接続プログラムの遂行 (令和2年度作成) 4. 子どもプレイハウスの円滑運営 (委託初年度) 5. 関係機関との連携、情報共有の在り方	関係機関との速やかな連携	利用者満足度90%以上

点検・評価

1. 学校は、自己点検・評価を行い、さらに学校運営協議会による評価を受ける。
2. 教育委員会は、自己点検・評価を行い、外部評価を受け、議会へ報告する。

学校経営計画

➤ 2 令和4年度当別町学力向上プラン

【目標】 社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人を育てる

【指標】 令和4年度の全国学力・学習状況調査や標準学力検査（NRT）等の各種学力検査で、町内全校で全教科（国語・社会・算数・数学・理科・英語）の正答率及び偏差値が全国平均を大幅に上回る。

【方針】

1. 授業改善を積極的に進め、着実に学力向上を図っていく。
2. 課題となっている国語の読解力の強化や、算数・数学の記述式問題に対応するための取組を進める。
3. 小中一貫教育の特性を活かし、学びの連続性をより一層強化し、指導方法の工夫・改善を図る。

【具体的な方策】

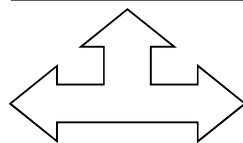
学 校

- 学校改善プランの着実な実践
- 「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- 1人1台端末の効果的な活用
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの推進
 - ・ICT機器の有効な活用実践
 - ・家庭学習の定着と内容の工夫
- 学力向上推進講師の効果的な活用
- 学びのハンドブックの活用
- 小中の研究・研修の質の向上
- OJTを取り入れてスモールステップを大切にした教師力の向上
- 働き方改革により業務を効率化することで、十分な教材研究の時間を確保

教育委員会

- 一貫教育の推進
 - ・学力向上推進講師の配置
 - ・小中の乗り入れ授業の支援
 - ・教育課程工夫改善への指導助言
- 教職員の資質向上
 - ・町及び石狩教育局指導主事による学校教育指導
 - ・ICT機器の活用指導
 - ・教職員研修の充実
- 働き方改革の推進
 - ・校務支援システムの活用
- 学習支援
 - ・放課後及び土曜学習会の充実
 - ・長期休業中の学習支援の充実
 - ・読書環境の整備・充実
- 地域の教育力活用
 - ・コミュニティ・スクールへの支援

学 力 の 上



9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月

← 改善プランの実践・見直し →

調査
実施

評価と
分析

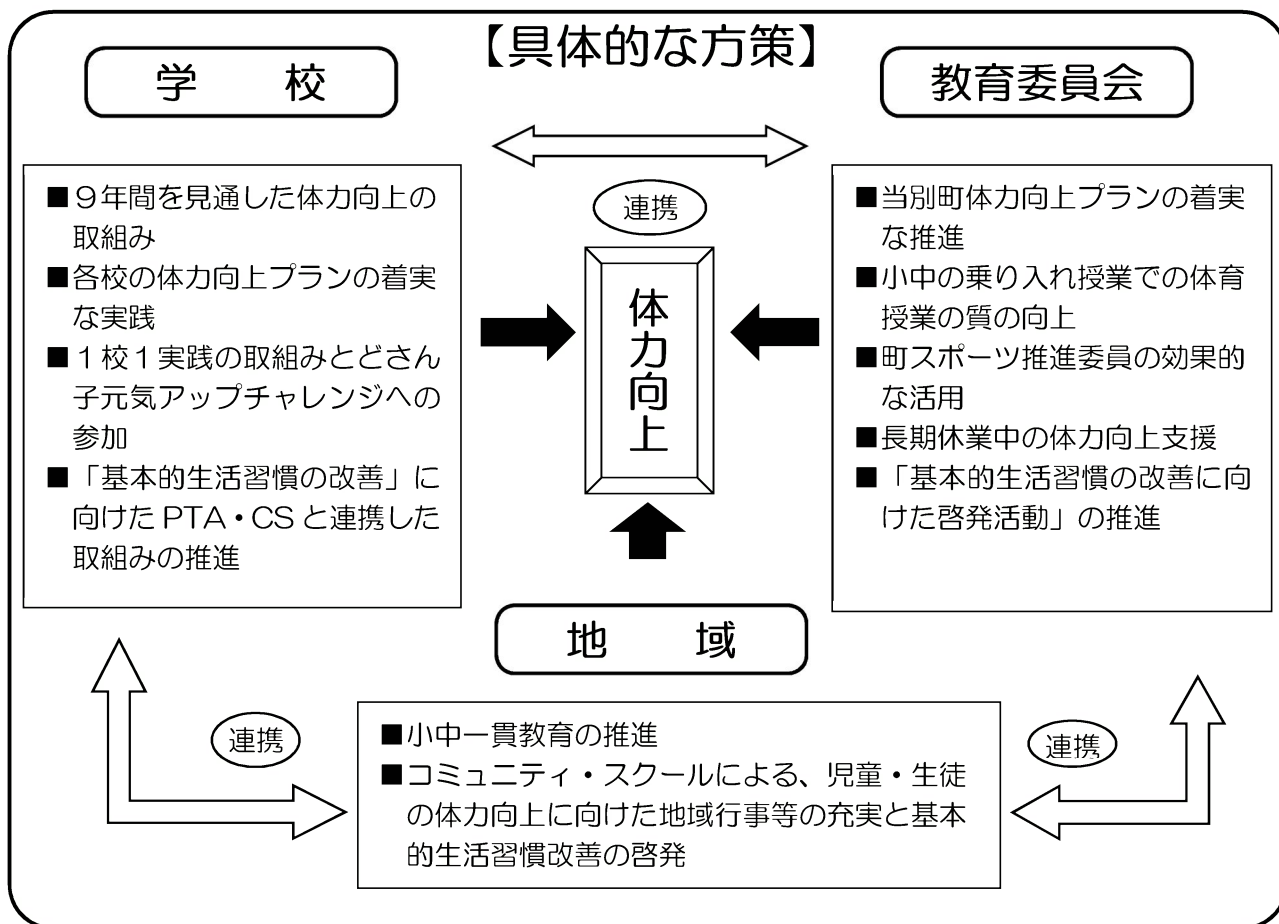
改善プラン
策定

➤ 3 令和4年度当別町体力向上プラン

【目標】全国体力・運動能力、運動習慣等調査で体力合計点の全国平均以上をめざす

【課題】

- 小学校・中学校ともに体力合計点が上がっており、体力の底上げが進んでいる。バランスの取れた体力の向上をより一層積極的に取り組むことが大切である。
- 小・中学校ともに、家でのテレビやDVD、ゲーム機、携帯、パソコンなどの画面を見ている時間が、全国平均を大きく上回っていることから、基本的な生活習慣の改善が課題である。



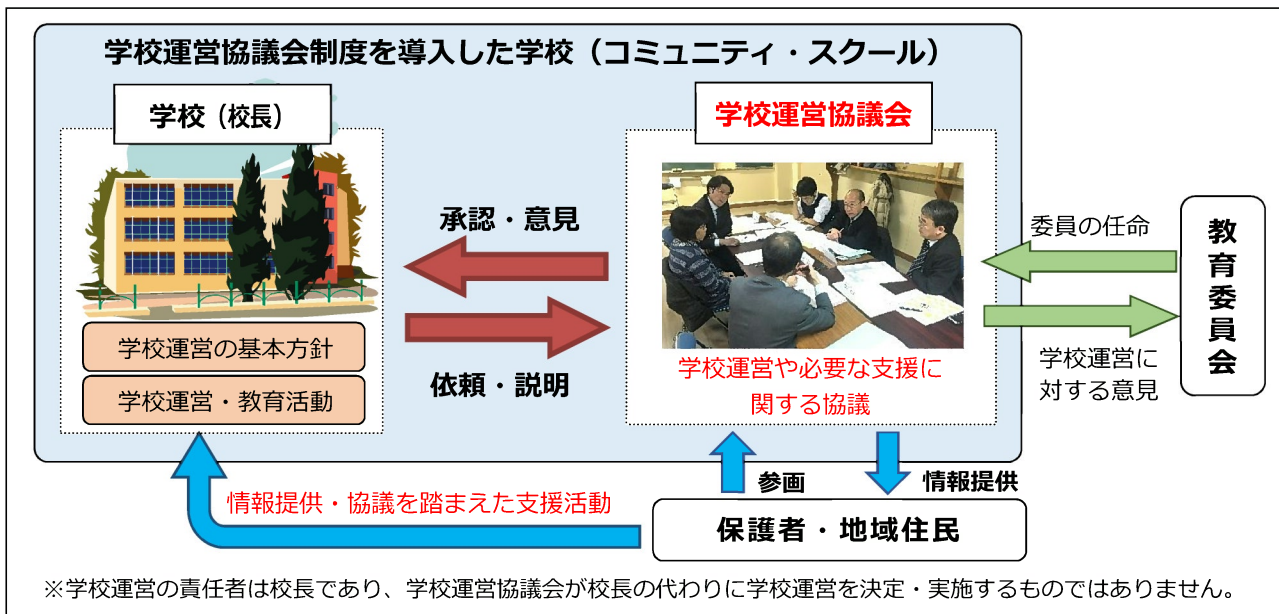
【年間計画】

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
学校	各学校の体力向上プランの見直し		準備	体力調査実施			結果分析・評価					
	体力向上プランの着実な実践											
教委	体力向上プラン作成		学校への支援 PTA・CSとの連携								結果分析・評価	

➤ 4 コミュニティ・スクール（CS）

地域とともにある学校 = 学校運営協議会設置校（CS）

学校運営協議会は、任命された保護者や地域の方々が一定の権限を持って学校運営に参画する組織で「地域とともにある学校」づくりを推進します。



義務教育 9 年間の学びの充実のために

小中一貫教育の充実のためには、教育課程だけでなく、子どもたちの家庭や地域の中での学び、発達段階に応じた心の成長等も一緒に考える必要があります。そこで、保護者や地域住民と子どもたちの義務教育 9 年間について話し合う場の設置が必要です。

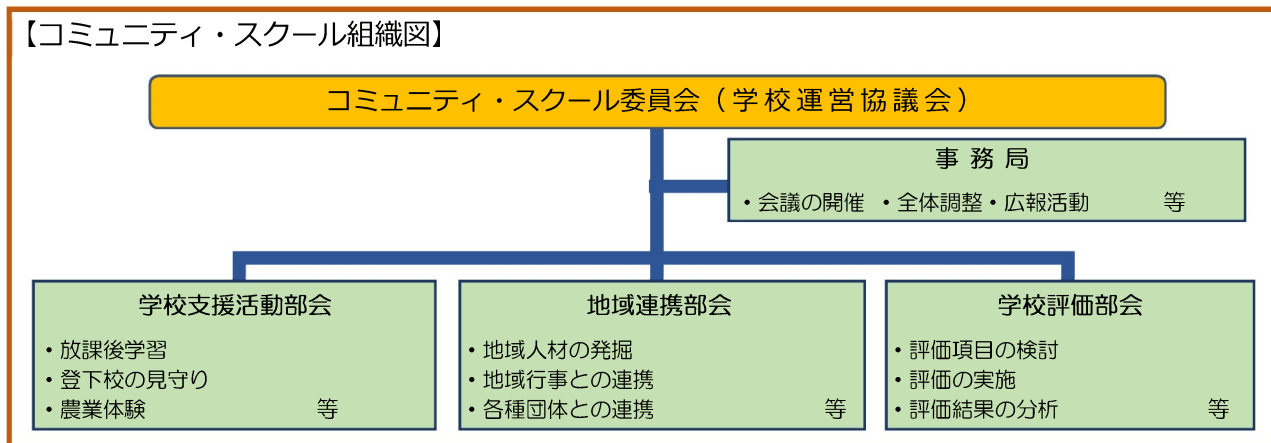
学校運営協議会では、小中一貫教育を地域全体で支えるため、学校支援に関する方向づけや調整等の協議を行うことで、学校運営全般への参画を促します。

当別町では、平成 29 年度に各中学校区（当別地区・西当別地区）に学校運営協議会を設置しました。基本的な活動として以下の 3 点を行いながら、学校支援活動や地域連携活動等、段階的に発展させ、「地域とともにある学校」を作ります。

- (1) 「学校運営に関する基本方針」承認
- (2) 学校運営についての意見
- (3) 学校評価

【委員数】令和 4 年 6 月 1 日現在
 当別地区 10 名
 西当別地区 22 名

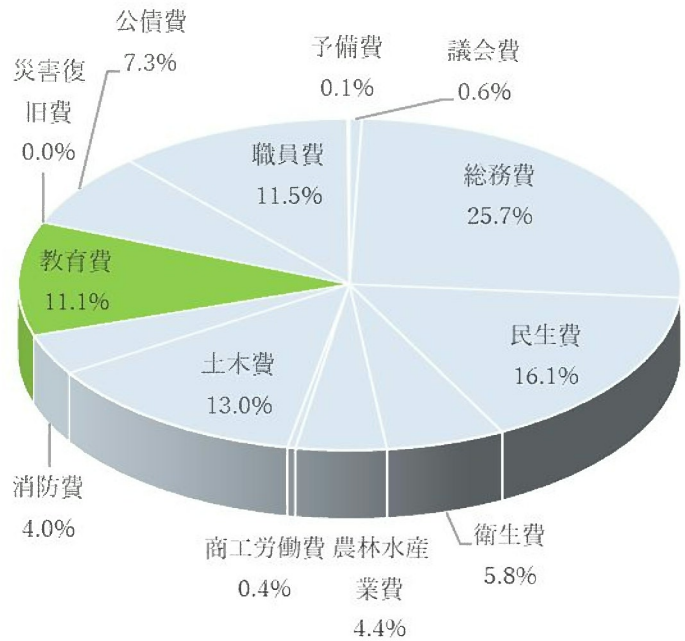
【コミュニティ・スクール組織図】



➤ 5 教育予算

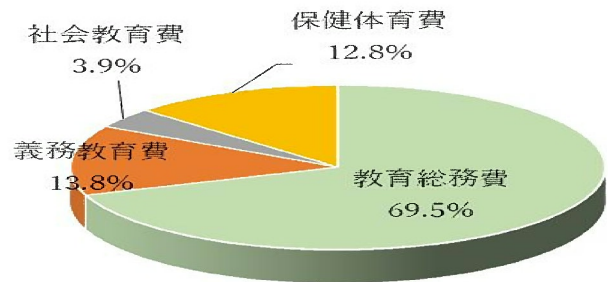
(1) 令和4年度 一般会計当初予算額

区分	金額 (千円)	構成比 (%)
議会費	88,401	0.6
総務費	3,482,282	25.7
民生費	2,181,589	16.1
衛生費	786,008	5.8
農林水産業費	596,041	4.4
商工労働費	59,232	0.4
土木費	1,769,641	13.0
消防費	541,118	4.0
教育費	1,512,424	11.1
災害復旧費	5	0.0
公債費	935,370	7.3
職員費	1,560,445	11.5
予備費	5,000	0.1
歳出合計	13,567,556	100.0



(2) 令和4年度 教育費当初予算額

区分	金額 (千円)	構成比 (%)
教育総務費	1,050,619	69.5
義務教育費	208,398	13.8
社会教育費	59,530	3.9
保健体育費	193,877	12.8
総額	1,512,424	100.0



(参考)

民生費当初予算額 (子ども未来課所管分)

区分	金額 (千円)
児童福祉費	432,493

(3) 教育予算の推移

年度	一般会計予算	増減率	教育費予算	増減率	構成比
平成30年度	9,249,051	▲1.1	513,781	11.4	5.6
令和元年度	10,340,207	11.8	511,630	▲0.4	4.9
令和2年度	12,148,438	17.5	1,340,830	162.0	11.0
令和3年度	15,070,094	24.0	2,918,145	117.6	19.4
令和4年度	13,567,556	▲10.0	1,512,424	▲48.2	11.1

※各年度当初予算額

(4) 主な事業

【学校教育課所管】

西当別小学校・中学校感染症対策事業（新規）（42,400千円）

新型コロナウイルス感染症対策のため、西当別小学校と西当別中学校に網戸を設置するとともに、西当別小学校の開放が困難な児童玄関の改修を行い換気対策をする。また、菌の飛散防止のため、西当別小学校の一部の和式トイレを洋式化する。

小中一貫教育推進事業（継続）（10,737千円）

町立学校において、充実した指導体制を確保するため、「学力向上推進講師」（英語2名、算数（数学）2名）を各中学校区に配置する。

また、教職員の資質向上のため、教職員を対象に今日的な教育課題をテーマとした研修を開催する等、これらの取組を通じて児童生徒の学力向上を図る。

学校給食費管理運営事業（継続）（52,650千円）

保護者等からの給食費の収納率向上を図り、地場産食材の活用を拡充し、安心・安全で栄養バランスのとれた魅力ある給食を実施し児童生徒の心身の健全な発達を図る。

当別町一体型義務教育学校建設事業（継続）（783,652千円）

1年生から9年生までが一同に集い、「知・徳・体」を備えた世界に通用する人材を目指し、学習や部活動などの教育活動を展開する新たな義務教育のスタイルを実現するため、とうべつ学園のグラウンド整備を行う。

教育情報システム運用事業（継続）（20,858千円）

「GIGA スクール構想」において整備した「教育系ネットワークシステム」及び「校務系ネットワークシステム」を安定的かつ安全に使用できるよう、運用・保守管理を実施する。

【社会教育課所管】

学校・家庭・地域連携協力推進事業（継続）（3,527千円）

学校への講師派遣等の地域学校協働本部事業や、児童生徒の学力向上や学習習慣の定着化のための放課後学習会や土曜学習会、英語体験活動を実施する。

読書活動推進事業（継続）（8,287千円）

図書館蔵書の充実、図書館情報専門員（司書）の任用、利用者の視点に立った図書館運営等の読書環境の整備を行い、読書活動を推進する。

社会体育施設等指定管理事業（継続）（46,933千円）

社会体育施設等（総合体育館、白樺コミュニティーセンター、当別小学校水泳プール）の指定管理を継続し、民間の活力により住民サービスの向上を図る。

当別町総合体育館屋上防水改修事業（新規）（128,188千円）

平成元年設置から32年経過し、老朽化が著しい総合体育館屋上防水改修工事を実施し、施設を適切に維持管理する。

【子ども未来課所管】

保育所等におけるICT化推進事業（新規）（921千円）

認定こども園において、保育の周辺業務等に係る「ICT等を活用した業務システム」を導入するため、費用の一部を町が補助することにより、保育士の業務負担軽減を図るとともに、園から保護者へ利便性のあるサービスを提供する。

保育士等確保対策就労支援給付金（新規）（900千円）

町の定住促進施策による子育て世帯の増加見込みに備え、町内認定こども園における待機児童の発生を抑制するため、新規採用の保育士等に一時金を給付することで保育士等の確保につなげ、教育・保育を安定的に提供する。

子どもプレイハウス運営業務委託（新規）（34,440千円）

子どもプレイハウスの運営について、民間の有する優れたノウハウを取り入れ、より質の高い事業を実施するために民間へ業務委託を実施する。